



城内小だより

文責 校長 古賀 弘行

【1月の学校の取り組み】

一日一日を大切に

感謝の気持ちを伝え

進級に向けて行動する



【後期後半、目標を意識して、一日一日を大切に】

卒業まで6年生が今の教室で過ごす日数は後36日、1年～5年生は修了式まで38日しかありません。

そこで、進級に向けて、目標を設定し、一日一日を大切に過ごしながら、心の準備もしてほしいと思います。

ある保護者の方が話されました。「子どもがにこにこして、『僕、いいことをしたよ』と言って帰ってきました。6年生の真似をして、下校中に道に捨ててあった吸い殻を全部拾ってきたそうです。6年生の良いところが下級生に伝わるのはいいですね。自ら考えて行動することに取り組んでいる学校の教育の成果ですね」と。

今年度から児童玄関には、6年生からの提案で、ごみ箱を設置しています。そこには、子ども達が登校中に拾ってきたごみが入れています。地域をよりよくしたいといった思いが伝わってきます。

【1月13日～15日 1年生:筑紫さんが体験入学】

オーストラリアのメルボルンに住んでいる筑紫美里(みりー)さん(7歳)が、休みを利用して、本校の1年生教室で3日間体験入学をしました。美里さんは、英語だけでなく日本語も上手に話せて、他にもスペイン語、タイ語、中国語も学習経験があるそうです。初めての日本で学校生活でしたが、すぐ仲良しの友達もでき、楽しい思い出がたくさんできたとのこと。

最終日に、お母さんの筑紫雅子さん(本校卒業)が、1年生の子ども達にメルボルンの話をしてくださいま



した。時差や季節、動物のことなど日本との違いに興味をもって話を聞いていました。来年の再会を楽しみにしています。

【1月の委員会の取組紹介「会議・集会委員会」】



14日から3日間、会議・集会委員会が、旗を持って、挨拶運動を行いました。また、今日一日が幸せな気持ちになるようなおみくじを引いてもらったり、絵馬のカードを渡したりして、自分たちで活動を工夫していました。1、2年生も数名、参加しました。



【地域のゲストティーチャーを招いての学びの充実】



3～6年生の新年揮毫会では、地域の井手さん、池田さんをお招きして、各学年の習字のポイントについて手を取って教えていただきました。



1月22日には、3年生の図工「トントン釘うって」に、地域の柿野さん、馬場さん、黒田さん、松藤さんにお越しいただき、釘の打ち方のコツを指導してもらいました。今年度は、**約60名の地域の方**にゲストティーチャーとしてお越しいただいています。

【1月20日(火) 学校給食週間の取り組み】

1年生を対象に、栄養士の山形先生から、「元気に過ごすための食べ物の働きについて」の授業をしていただき、好き嫌いなく何でも食べているか自分の食べ方を見直しました。



また、給食委員会が中心となり、「給食感謝の会」を企画して体育館で開催しました。栄養士や調理員さんに質問したり、各学年のメッセージポスターを渡したりして、みんなで感謝の気持ちを伝えました。



【1月21日(水) 3年生:柳川警察署見学】



3年生は、社会科の学習で柳川警察署に見学に行きました。警察手帳や警棒、手錠を見せてもらったり、白バイやパトカーに乗せてもらったりしました。また110番の仕組みや事件や事故を未然に防ぐための取り組みの話聞き、自分の安全は自分でもしっかり守っていきたくと感想をもちました。

